

### 第3章 学生の受け入れ

**【点検・評価】** 本大学院における研究科の学生募集の方法や入学選抜方法については、大学院委員会や各研究科委員会の管理運営の下で、大学院・研究科の理念や目標に沿うように計画的かつ適切に実施されていると評価できる。夏期と秋期と春期の3回出願機会があり、社会人および外国人留学生に対しても特別入試を実施しているので、多様な学生を受入れている。さらに大学学部の成績優秀者に対しては、政治政策学研究科、アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科前期課程および人間福祉学研究科において学内進学の特典を設け、学内からの進学者確保をしているが、安定数には至っていない。

**【課題・方策】** 学内においても、本学大学院について十分に理解されているとは言えない面もあり、説明会や学部ゼミ指導等において理解を促す必要がある。また、ティーチング・アシスタントや学科研究室における院生による学部生の支援等を通じて学部生と院生との交流を図り、大学院進学を理解を促したい。また、昼夜間開講制を採っているため、市内および都内、その近辺に勤務する社会人に対して一層入学の呼びかけを図る必要がある。

## 2 学内推薦制度

### 1) 学部成績優秀者等に対する学内推薦制度

(B: 成績優秀者等に対する学内推薦制度を採用している大学院研究科における、そうした措置の適切性)

**【現状の説明】** 政治政策学研究科、アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程および人間福祉学研究科で本学4年次生を対象に学内推薦の特典を設けた。条件は、以下のとおりである。ただし、「卒論演習担当者の推薦書」および「卒業論文の概要・進行状況に関するレポート」の提出を義務付けている。

- ① 外国語試験の免除 (大学における外国語の卒業必要単位を修得し、その平均点が3.8以上)
- ② 筆記試験の免除 (大学における卒業に必要な単位条件を満たし、取得した全科目の平均点が3.6以上)

なお、学内推薦制度は、アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程では実施していない。

**【点検・評価】** 本学出身の優秀な学生を入学させて大学院を活性化すると共に、定員の充足をも図る意図を持ってこの制度を始めた。優秀な学生を確保するように2004年度から共通科目等において大学院・学部共通授業を開始し、成果が出てきている。学部の卒業論文・卒業研究指導教員による指導や学内の入試説明会等においてこの制度を周知徹底させることが課題である。

**【課題・方策】**